

私立大学図書館協会2014年度第2回国際図書館協力委員会議事要録

- ・日 時 2014年7月4日(金) 14:30～16:50
- ・場 所 明治大学 和泉図書館会議室
- ・出席者 齋藤和子(早稲田) 豊満朝子(明治) 山岸拓郎(専修)
 蓑島智子(中部) 武山精志(立命館) 金 東澄(関西)
- ・事務局 山崎秀樹(関西) 濱生快彦(関西)
- ・配付資料
 - ・ 寄贈資料搬送事業実施要領 (資料1～3)
 - ・ 寄贈資料搬送事業の採択審査資料 (資料4～13)
 - ・ 2014年度海外集合研修の参加者募集について(案内) (資料14～16)
 - ・ 2014年度第2回寄贈資料搬送事業実施について(案内) (資料17～18)
 - ・ 2012年度国際図書館協力シンポジウムの開催について(案内) (資料19～24)
 - ・ 国際図書館協力基金へのご支援について(お願い) 他 (資料25～33)
 - ・ 2014年度国際図書館協力委員会カレンダー (資料34～35)
 - ・ 2015年度海外派遣研修の参加者募集について(お知らせ) (資料36～38)
 - ・ 2014年度海外認定研修について(案内) (資料39～41)
- ・ 審議事項
 - 1 第1回寄贈資料搬送事業の採択について (資料1～13)

5月31日に申し込みを締め切ったところ次の4件の申請があり、審査の結果、全ての申請を採択した。

 - ・ 国際大学 200冊 寄贈先: Centre Africain d'Etudes Supérieures en Gestion (セネガル)
 - ・ 専修大学 139冊 寄贈先: 王立ブノンペン大学Royal (カンボジア)
 - ・ 跡見学園女子大学 862冊 寄贈先: BISHKEK HUMANITIES UNIVERSITY (カザフスタン)
 - ・ 文教大学 176冊 寄贈先: FPT University (ベトナム)以上4件とも実施要領の要件を満たしている。
 - 2 海外集合研修の募集について (資料14～16)

次のとおり一部修正することで原案のとおり了承された。

 - ・ 通訳は専門家を雇わざるをえないので、プログラム実行料とは別に通訳料を払う。
 - ・ 通訳はレクチャーのみにつける。見学には通訳がつかないことを記載する。
 - ・ 訪問予定機関はJULAC8大学のうちから5～6大学訪問すると記載する。
 - ・ 応募者が多数の場合は書類選考するため、改めて基準を協議する。
 - 3 第2回寄贈資料搬送事業の募集について (資料17～18)

委員長より募集案内(案)に基づき提案があり、原案のとおり了承された。
 - 4 国際図書館協力シンポジウムについて (資料19～24)

委員長より資料に基づき次の説明があり、原案のとおり了承された。

- ・レセプション代は名称を意見交換会参加費と改め、実費を徴収する。
- ・シンポジウムの様子を動画配信する。
- ・申込受付の締切りを例年より1週間早める。

5 国際図書館協力基金への支援依頼について (資料 25～33)

委員長より2001年および2012年、2013年の国際図書館協力基金趣意書ならびに2014年の同趣意書案の提示とともに、趣意書作成について提案があった。継続審議となった。また支援依頼分担を確認した。

6 今後のスケジュールについて (資料 34～35)

委員長よりカレンダー案に基づき提案があり、次のことが確認された。

- ・第3回委員会は専修大学神田キャンパスにおいて海外集合研修応募者面接を実施する。

・報告事項

1 海外派遣研修の募集について (資料 36～38)

第1回委員会を受けて修正した部分を確認した。

2 海外認定研修について (資料 39～41)

第1回委員会を受けて修正した部分を確認した。

3 国立情報学研究所主催大学図書館職員短期研修の講義担当者の推薦について

委員長より標記の依頼があったことの報告があり、昨年度海外集合研修参加者のうちから講義担当者を推薦することが確認された。

また推薦する者の範囲について種々懇談した。

以上